

ベースラインをそろえる

硬い印象を和らげる

大きなアートを選ぶ

いつもと違う場所に飾る

入れ替え自由なギャラリーをつくる

フレームワークの中にまとめる

壁掛け
アートの
飾り方

フレーム&アートをセンスよく飾るアイデア



ベースラインをそろえる

サイズやデザインがばらばらのフレームも、ベースラインをそろえて飾れば、一体感や整然とした印象が生まれます。まず下のラインをそろえてから、上や横に広げていきましょう。[トップに戻る](#)





硬い印象を和らげる

壁のディスプレイを考えると、ドアや家具などの直線がガイドライン代わりにになります。家具のまわりにフレームやデコレーションステッカーを飾れば、家具のラインから生まれる硬い印象を和らげることもできます。[トップに戻る](#)



大きなアートを選ぶ

印象的なディスプレイを目指すなら、大きなアートを1点だけ飾るのもひとつのアイデア。スペースが広く感じられるうえ、そのアートのテーマが部屋全体に広がります。[トップに戻る](#)



いつもと違う場所に飾る

ウォールデコレーションのための場所が足りなくなったら、縦に細長いスペースなど、いつもは見過ごしてしまうスペースも使ってみましょう。部屋に新たな魅力が加わり、広く感じられるようになります。[トップへ戻る](#)

入れ替え自由なギャラリーをつくる

模様替えが大好きなら、アート用飾り棚を取り付けて、その上にフレームを並べるのがおすすめ。いつでも好きなだけ足したり入れ替えたりできます。飾り棚に並べるだけでなく、さまざまな大きさの壁掛けフレームとの組み合わせにも挑戦してみましょう。[トップへ戻る](#)





フレームワークの中にまとめる

架空の大きなフレームの中に収まるよう、複数のアートを飾るのもひとつの方法。フレームの中に何枚アートを飾るかは自由です。ただし、架空のフレームの角と四隅に来るアートの角が重なるようにすると、まとまり感が出てシャープな印象になります。[トップへ戻る](#)



上のラインをそろえる

階段脇の壁にフレーム入りアートを飾るときは、一番上のラインをそろえてからディスプレイすれば、殺風景だった壁がギャラリーのような印象に。アートをすっきりまとめて飾れるこの方法は、家中どこでも使える便利なアイデアです。[トップへ戻る](#)